



福島成蹊
高等学校

特進コースREPORT

2019年7月15日
第4号
福島成蹊高校広報室

全国模試実施！ 1年生は初の「全国大会」

【ベネッセ総合学力テスト・7月】7月9日(火)実施

ベネッセ総合学力テスト（進研模試）を実施し、特進コースの全生徒が受験しました。進研模試は全国最大規模の大学受験対応の模擬試験で、高校1年生の場合、全国で約48万人が受験します。現在の18歳人口は約117万人、大学進学率は約52%ですので、大学受験志望者のほとんどが受験していると言ってもよいでしょう。

高校受験では、ほとんどの中学生は東北地区の高校を受験します。つまり、東北地区の中学3年生同士の勝負であり、「東北大会」です。しかし、大学受験は「全国大会」です。人気のある大学には都道府県の枠を超えて受験者が集まりますし、その中には先輩である浪人生も含まれます。高校受験と大学受験はそれほど大きな違いがあります（ちなみに東北地区の中学3年生は約4300人です）。

また、残念なことに、東北地方は全国的に見ると「大学受験に弱い」と言われ、さらに福島県はその中でも下位にいうデータもあります（「福島県の学力の現状」は次回のミニコラムに掲載します）。つまり、福島県内の成績は必ずしも全国大会の大学受験では通用しないということになります。

なんか、クワイ話になってしまいましたが、決して悲観的に言っているわけではありません。東北大会しか経験していない人間が全国大会で勝つためには、自分の力を全国規模で客観的に把握し、目標に向けて努力を積み重ねていくしかないわけで、今回の進研模試はそのための大切な目安となります。その努力が合格に結びつくことは、これまでの特進コースの先輩たちが証明しています。

大学受験ミニコラム 2020年度からの大学入試で問われる「新学力観」

1. どうして「学力」を新しくしなければならないの？

グローバル化の進展やAIの進化により、これまでとは全く異なる社会がやってきます。そういった中で、今までの「知識」に偏った学力だけでは日本はどんどん後れを取ることが明確になり、新しい時代を生きるために必要な「学力の三要素」が文部科学省より提示されました。

2. 「学力の三要素」ってどんな力？

- ① **知識・技能**…今まで重視されていた学力です。これは学力の基礎であり、今後も変わりません。
- ② **思考力・判断力・表現力**…自分自身で深く考え、整理し、相手に分かるように伝える力です。
- ③ **主体性・多様性・協働性**…自分から進んでさまざまな価値を受け入れ、他者と協力して問題解決にあたらうとする姿勢です。

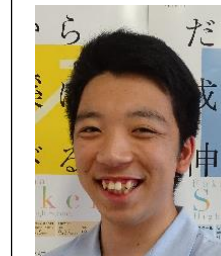
3. 大学入試はどう変わるの？

現在の「センター試験」が新しく「大学入学共通テスト」となり、国語、数学での記述問題の導入など、「思考力・判断力・表現力」を問う問題が加わります。また、国公立大学の個別試験では「主体性・多様性・協働性」を判断するため、小論文、プレゼンテーション、集団討論、面接、推薦書、資格試験など、多様な評価による「丁寧な」入試を行うことになっています。

過去問題で練習した成果を発揮することが目標でした。国語や英語は文章量が増え、内容も難しくなったように感じました。でも、毎週土曜の英単語・古文単語テストのおかげで歯が立たないということはありませんでした。数学は答えだけでなく過程が分かるように書かなければならないため、丁寧さや分かりやすい表現が必要でした。今回の模試では各教科の課題がよく分かりました。苦手な現代文を克服し、数学の文章題にも生かしたいと思いま



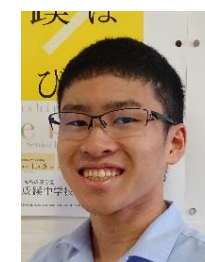
1年 武藤美菜さん
(二本松市立東和中出身)



2年 大塚晋弥さん
(二本松市立二本松第三中出身)

志望する大学でB判定をとることを目標に、特に、苦手な国語と英語で1点でも多くとるという思いで臨みました。全体的に文章自体をうまく読み取ることができず、また、解答も記述問題が得点につながりませんでした。今回できなかったところをしっかりと見直して、似た問題が出たときに正確に答えられるよう、復習したいです。中学校と比べて高校の模試は試験時間が100分など長くなるので、忍耐力もつけて生きたいと思えます。

センター試験まで半年となった今、自分がどのラインにいて、残り時間で何をすれば良いのかを知る重要な指標として、今回の模試に臨みました。今回は記述式で、120分の科目もありました。ごまかしがきかず、自分の弱点が明確につきつけられた思いがしましたが、そのことこそが、模擬試験を受ける意味なのだと思います。模試で穴を見つけ、一つずつ塞いでいくことが合格へとつながっていくと感じています。



3年 藤野圭都さん
(福島成蹊中出身)

先生インタビュー

すえながまさのり

1年2組担任、理科科の末永誠徳先生です。

年齢は：24歳です。

大学は：新潟大学教育学部で、専門は化学です。

趣味はありますか：ボウリングはアベレージ150、ハイスコア225です。

OBなんですかね：成蹊の特進コース出身です。合宿、登山、強歩などで

身につけた精神力のおかげで、つらいことも何とか耐えられようになりました。特進の良さを伝えたいと思い、教員になりました。

教員として見た成蹊はどうですか：先生方が職員室でも生徒の話ばかりしているの

で、自分もこんなふうなふうに考えてもらっていたんだと分かりました。

担任の1年2組はどんなクラスですか：にぎやかですが、言われたことはしっかりやれるクラスです。これからは自分で考えて行動できる集団に育てていきたいと思っています。

